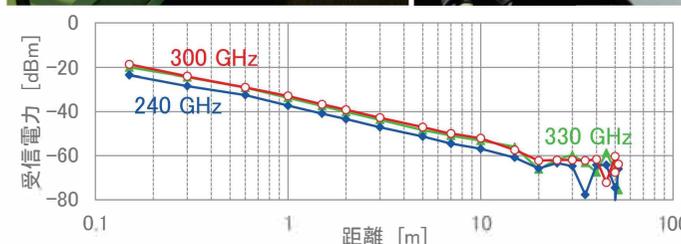
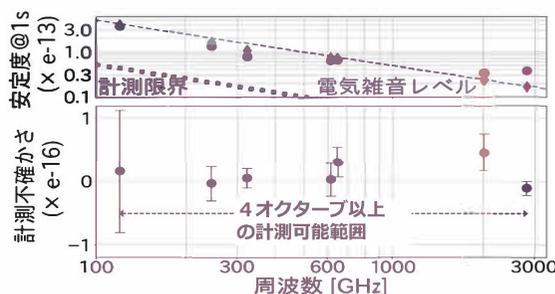
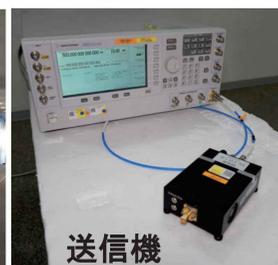




概要

Beyond 5Gでは、テラヘルツ帯の利用が検討されています。

NICTでは、この帯域を、幅広いユーザーへ割当て効率的に利用するために、世界に先駆けてテラヘルツ周波数標準技術の開発、電波伝搬特性データの蓄積を進めています。



小型テラヘルツ周波数計とその優れた計測性能

300 GHz 屋内電波伝搬特性の測定

特徴

- ・周波数標準の空白域で動作する、NICT発の新しいテラヘルツ周波数標準器の開発
- ・テラヘルツ波の伝わり方について、実験試験局を開局し、電波伝搬特性データ収集

ユースケース

- ・バイオ・医学や天文学などの研究分野にも、従来なかったテラヘルツ領域の周波数基準を提供することで、新たな発見や発明が期待
- ・測定データを ITU-R などに提供

今後の展開

- ・テラヘルツ波を精密に計測する技術分野において世界を牽引し、テラヘルツ波の標準、電波の使い方に関する国際的な共通ルール作りに貢献

関連リンク

- ・テラヘルツ帯で動作する、超高精度・広帯域の小型周波数カウンタを開発 [2021.7.29.](#)
- ・超小型アンテナを使用した300 GHz帯テラヘルツ無線通信に成功 [2021.1.13.](#)
- ・NICTニュース 2020 No.3 通巻461
テラヘルツによるオープンイノベーションに向けて